

JCに入会して良かった事



山田 和範
サンワサプライ㈱

2015年度後期新会員として岡山青年会議所へ入会しました。入会するまでは、岡山青年会議所がどのような団体で、どのような事に取組んでいるのか、全く未知でした。とにかく参加するように、参加しない事には何も始まらないと言われ続け、また、同じタイミングで入会した同期を大事にして絆を深めるように指導頂きました。時には何でこんな事を行うのだろうか、何でこんな無理をしないと行かないのだろうか、と思う事も多々ありました。しかしながら、半年間の研修期間を通して、岡山青年会議所の活動や意味について入会時より理解が深まりました。また、一つひとつの課題には意味があり、気付きや学びがあることがわかりました。半年という短い研修期間でしたが、この期間に学んだ事や経験したことを今後の岡山青年会議所活動に生かしてゆきたく思います。今後とも、よろしくお願い致します。



中山 友二
弁護士法人
後楽総合法律事務所

半年間の研修期間を振り返ると、入会前の想像をはるかに超える日々の連続で、達成感とともに、一抹の寂しさを感じています。私は士業であり、また経営者ではなく勤務弁護士です。経営者側の人間ではありませんが、青年会議所活動を通じて学べることは多くあるように感じています。特に、同期や年の近い経営者の発想に毎日のように触れる機会は、顧問先のニーズを探る上でも非常に貴重な経験をさせていただいていると考えています。今年からは、まちづくり室の委員会メンバーとして青年会議所活動の事業に参加させていただき新たな気づきを学ばせていただいております。卒業まで長い修練が続くと思いますが、絆を大切に、その先に成長があると信じ、日々頑張っていきたいと思っています。

Junior Chamber International Okayama 公益社団法人岡山青年会議所 入会のご案内



私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。地域社会の発展のため、次世代のまちづくりのために青年会議所の活動を通じ、幅広い交流範囲の様々な人との「出会い」や「学び」、「成長」を繰り返します。地域社会や組織において、より優れたリーダーとなるための切磋琢磨を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

年齢・資格

満20歳以上39歳以下の
品格のある男女

募集期間

随時募集しております。詳しくは、
下記事務局までお電話にてご連絡
ください。

入会に際して必要なものです

- 入会申込書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)
- 履歴書
- 入会誓約書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)
- 入会承諾書
- 作文 題目「岡山JC入会にあたって」※万年筆またはボールペンで、楷書で記入のこと ※700字以上
- 会社謄本 ※資格のみで正業に従事する場合は、資格者証の写し
- 本人の住民票
- 写真 ※縦4cm横3cm 4枚(うち一枚は履歴書に貼付) ※白黒写真ネクタイ着用・スピード写真不可

〈事務局〉

TEL: 086-223-0938 FAX: 086-225-0500 E-mail: info@jci-okayama.com
〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル6F

2016年度 岡山JCホームページ・facebook

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業紹介や会員拡大情報など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.okjc.org/2016/>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>



2016年度 広報誌「暖流」Vol.3

■発行日/平成28年7月

■発行/公益社団法人岡山青年会議所
〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル6F
TEL:086-223-0938 FAX:086-225-0500
URL <http://www.okjc.org/2016/>
E-mail info@jci-okayama.com

■発行責任者/公益社団法人岡山青年会議所

岡山JCの魅力発信委員会 委員長 上神 健治
末長 一範 難波 秀明 藤井 大温
安部 真良 芦田 香奈子 安定 あい 河野 初仁
佐藤 史成 高山 晃一 竹本 幸史 難波 宏行
中村 彰宏 西山 武志 広瀬 政子

★次号は9月発行予定です。



環境に配慮し、古紙パルプ配合率100%の再生紙と植物性大豆油インキを使用しています。



暖流

VOI. 3
2016.JULY
~DANRYU~

OKAYAMA JC REPORT DANRYU 2016

JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL OKAYAMA

題字：佐野 範一



対談

おかやま信用金庫 理事長

公益社団法人 岡山青年会議所
第66代理事長

桑田 真治 × 佐野 範一

PICK UP

■ 第23回うらじゃ

■ 第3回キッズビジネスパーク

■ 市民公開フォーラム

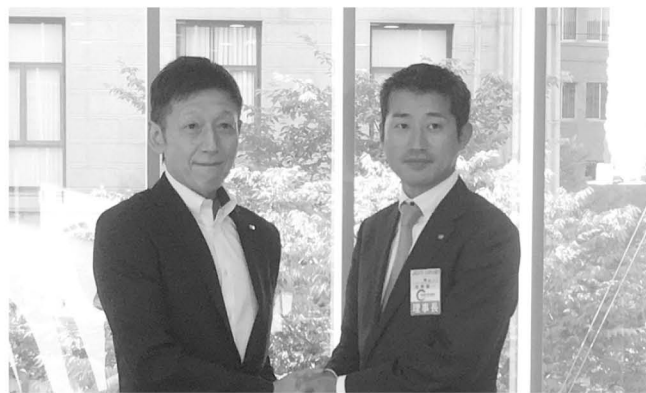


公益社団法人 岡山青年会議所
Junior Chamber International Okayama

URL <http://www.okjc.org/2016/>
E-mail info@jci-okayama.com

特別対談

おかやま信用金庫 理事長 桑田真治 × 第66代理事長 佐野 範一



佐野: 今日ではよろしくお祈りします。「うらじゃ」には、いつも「おかやましんきん連」として参加いただいているので、非常になじみ深く感じています。参加は今年で何回目になるのですか。

桑田理事長: もう9年目になります。「うらじゃ」の“共生と融和”というコンセプトが、私たち「おかやま信用金庫」と合致していると感じています。たとえば当日は街が一体になって盛り上がりやすくなる。商店街の店舗もみんなが協力して街を盛り上げようとしている、そんな光景を見ると「おかやましんきん連」として参加している一年生の職員の間には、感動して泣きだす子もいます。こうした地域とのつながりや、“共生と融和”を感じることができるイベントは、私たちの活動にもマッチしていると改めて思いますね。

佐野: ホームページも見せていただいたのですが、地域貢献や地域とのつながりをモットーにされているので、「うらじゃ」ともマッチしているのかなと思います。

桑田理事長: また、せっかくやるからには達成感を分かち合いたいので、参加する職員は5月の連休明けから週2回、みっちり練習して本番に臨んでいます。これはある側面では年次間の結束にもつながっていて、昨年一年生として参加した職員の中から今年のリーダーを決めて、連を引っ張ってもらっています。

また当日は連に参加しない職員がメイク班としてサポートしてくれたり、普段は大先輩になる係長・課長クラスの人も自分のマイカーで送迎してくれたり、おかやま信用金庫が一体となって参加します。そうした中で、おかやま信用金庫という組織が、地域のなかで育てられているのだという事を、若い職員が実感するのです。

佐野: 社内の結束を図るツールとしても使っていただいているのですね。「うらじゃ」や「ファジャーノ」もそうなのですが、街づくりに貢献して、地域と一緒に歩んでいくという姿勢がよくわかります。

桑田理事長: 私も岡山生まれ、岡山育ちなのですが、今ほど岡山の街がまとまったことはないのではないかと感じています。ファジャーノもそうですね、これまで岡山にはプロスポーツが根付いておらず、なんとなく盛り上がり欠けていたのですが、今はファジャーノを我々も含めて小口のスポンサーがみんな支えている。またスタジアムへのアクセスの良さもあるでしょうけど、観客動員も8,000人をキープしていることは、素晴らしいことだと思いますね。

佐野: そうしたプロスポーツやお祭りがありますが、岡山がさらに活性化するにはどうすれば良いか、お考えはありますか。

桑田理事長: そうですね。やはり岡山は恵まれすぎているところがあって、平野は広いし、天災もない。そうした背景もあって、一世帯あたり貯蓄額は全国でも5番目なのです。企業もお金を持っているし、個人もお金を持っている。一方、あまりに恵まれすぎてハングリー精神に欠けているのではないかと思います。だからこそ、なかなか全国ブランドが育たなかったのかもしれませんが、近年の動きを考えるとかなり変わってきたのではないのでしょうか。

4月に発行された週刊ダイヤモンドで、全国1,711市区町村から人口増加率や所得増加率などを評価基準にした「勢いのある街」ランキングが掲載されていたのですが、岡山は86位となっていました。隣の広島は103位という結果でしたので、こうした観点からも岡山は力をつけてきたなと感じますね。

佐野: ちょうど全国ブランドという話も出てきたのですが、おかやま信用金庫さんでは様々な経営者を見られていると思うのですが、若手の経営者についてはいかがでしょうか？

桑田理事長: 若手の経営者を考えたときには、まずは言われ続けている後継者問題があると思います。後継者がいないため企業数・事業所数が減ってしまっている。人口の減少も含めた構造的な問題なので、各企業だけの問題ではないのですが、企業数・事業所数は減らしてはならないのが我々の使命であります。

おかやま信用金庫では若手経営者の集まりである「おかやまPRODUCE」を主宰しています。5年前に85名から発足して現在は133名。卒業が50歳なので、岡山青年会議所よりは少し上の世代になるのですが、親睦、異業種交流を図ることはもちろん、講師をお招きしてのセミナーを開催したり、勉強会を行ったり積極的に活動しています。そのなかでも会員同士の商品をコラボレーションして新しい商品を開発するなど、岡山青年会議所と同じように、若い人たちが交流をすることで前向きな力が出てくると思いますね。



佐野: そうですね。青年会議所も40歳以下の若者が集まっていて、岡山の街を良くしようという思いは一緒ですね。また「うらじゃ」を利用した人材育成もそうなのですが、“人間力”をつける育成や教育に力を入れている部分も、青年会議所に似ているなと思います。

桑田理事長: “人間力”という意味では、新人研修でも独自のカリキュラムを持っています。桃太郎大通りの旧支店を仮想店舗に改装した研修センターがあるのですが、新人は4月の入庫式後から1か月間はそこで研修することになります。実際の店舗でも使っている機械や現金を用意して、お客様の通帳登録から入金など、合宿状態で業務をみっちり叩き込み、5月に研修が終わると同時に、こんどは「うらじゃ」の練習が始まる。そのため4月から8月まで、一年生はみんな一緒に汗を流して結束力を高めていく、社員教育期間になっています。

そこで面白いのが、「うらじゃ」の練習をしても、一つひとつのパートに分けて練習するとできるのに、通して踊るとできなくなったり、ターンして後ろを向いた途端、動けなくなったり、得手不得手や対応力が見えてくるのです。

佐野: 研修のツールというか、人材を見極めるツールとしても使われているんですね。ちなみに積極的に街づくりに参加されているという印象を受けるのですが、そうした動きは桑田理事長が就任されてから活発になったのでしょうか。

桑田理事長: 2000年の合併からだだと思います。当時、営業エリアにある信用組合が第2地銀に吸収合併されたことで、これからは地銀と信用金庫という業態間のビジネスモデルをかけた競争になるだろうと考えていました。そこで最初に行ったのがビジネス交流会です。会員同士で仕事やお金を回していこうということで、お見合い方式のビジネスマッチングを開催しました。参加する企業は必ず社長の顔写真から経営方針、趣味まで入れた釣り書きを作ってもらい、事前に参加者に配ります。そうして開催してみたら、売りたい・買いたいだけでなく、組みたいといった要望まで出てきました。このビジネス交流会がきっかけとなって、産学連携や海外商談窓口を設置したり、商店街とも連携したりと、色々な輪が徐々に広がっていったというイメージですね。

佐野: お話を伺っていると、様々なアイデアを考えられていると感じます。



桑田理事長: 参加される企業の皆様も熱心ですので、提供する場を上手に使っていただいているのだと思います。また後から聞いて「なるほど」と思ったことなのですが、「おかやま信用金庫のビジネス交流会では、セラー同士が取引するのか」と言われたことがあります。他のビジネス交流会やビジネスフェアを見てみると、大手のバイヤー、つまりデパートやホームセンターなど大手の流通業者がブースを設置し、そこに中小の地元企業が見積書をもって並ぶというのが一般的なスタイルになっているそうです。しかし我々の場合は、会員さん主導でやっていますから、セラーもバイヤーもなく会員さん同士が自由にやり取りしているのです。

佐野: その発想自体がまったく異なるんですね。

桑田理事長: 私どもは協同組織金融機関ですからね。産学連携にしても最初は閉古鳥が鳴くだろうなと思って、隣にバイヤーコーナーを作ってみたのですが、フタを開けてみたら産学連携のところは長蛇の列でバイヤーコーナーは閉古鳥でした。実際にどんなことをやり取りしているのか聞いてみると、大学との共同研究という大袈裟なことではなくて、自分が持っている商品を、大学を利用して、いかに付加価値をつけていくかという使い方が多かった印象ですね。

佐野: 一緒に研究してなにかをしようというよりは、お墨付きをもらうような使い方もあるんですね。お話を伺っていると、参加されている企業同士が活発に活動されている印象を受けます。

桑田理事長: そうですね。年二回お客様のところに役員同行訪問という形でお邪魔しているのですが、その中から如何にお客様の要望を取り入れて経営をやっていくということが、信用金庫のガバナンスです。一会員一発言ですから、例えばビジネス交流会の場で意見が出れば次年度に取り入れられたり、交流会終了後も次の開催まで四半期毎に追跡調査をかけて、そのなかで成約率も毎回発表します。そうすると成約率の良い時は25%を超えていて、4社に1社が、何らかの成果を持ち帰っていただいていることが分かります。

佐野: 形だけの異業種交流ではなく、しっかりと成果が出せるものなのですね。

桑田理事長: われわれの一番のこだわりがそこですね。いかに成約率を上げていくかという事。実効性のある参加をしていただくため、環境や食などさまざまなテーマを設定したゾーンを設けています。例えば環境というテーマだったら、リサイクル関係だけではなく建材屋さんがあるなど、様々な関連企業に参加いただいています。業種別のゾーニングを行っているとしても同業種で並んでしまうのでお互いに牽制してしまう。だからテーマ別のゾーニングを我々の特徴として実践しています。

佐野: 同じような業種が集まった交流フェアではなく、テーマを決めてやるという事は新しいですね。

桑田理事長: ビジネスフェアを始めたとしても、お付き合いでお客様を集めてしまうと、去年成果が無くても2年目も同じところに出てくださいと頼むわけですね。そうするとだんだんと先細りになってしまいますからね。



佐野: おかやま信用金庫さんのほかにも若手経営者の集まりがありますが、こうした積極的な活動や成果はあまり聞かないので、面白そうだなと思います。

本日はお忙しいところありがとうございました。

事業報告

5月講師例会【ビジネスセミナー】



5月11日(水)夜の5月例会後、「LEON」編集長の前田陽一郎氏を講師に招き、「時代と言葉の読み解き方」～流行は知らないうちに言葉になる～をテーマに、ビジネスセミナーを開催いたしました。メンバーと同世代となる、40歳以下の青年経済人を主なターゲットとして一般にも告知したところ、約50名の一般参加もあり、常に流動する時代の中での言葉や流行など、私たちにとっても関心の高いテーマについてご講演いただきました。さらに、一般参加の方には岡山青年会議所の活動について直接知っていただくこともできた

と自負しております。講演終了後は、会員有志が一般参加の方たちと語らって二次会を設営し、講演の内容や岡山青年会議所、仕事などについて熱く語らう光景もあったそうです。メンバーが同世代の青年経済人と新しい絆を結び、さらに岡山青年会議所について知っていただく大切な機会になったと思います。

岡山JCの魅力発信委員会 副委員長 末長一範

行政情報交換会

平成28年5月16日、ムーブアップ・カフェにおいて岡山青年会議所と岡山市との行政交歓会を開催いたしました。まず、公益社団法人岡山青年会議所第66代理事長佐野範一よりご挨拶をさせていただき、続いて、岡山市政策局審議監赤坂隆様よりご挨拶を頂戴いたしました。引き続き、各担当委員長から岡山青年会議所の事業報告を行い、岡山市からは地域子育て支援課、教育委員会指導課、観光課、産業振興・雇用推進課、産業政策課、岡山芸術交流、地方創生、庭園都市推進課の担当の局長等から、今後の岡山市の活動方針を発表していただきました。その後、醍醐味である行政との懇親会を開催しました。3年ぶりの開催ということでお互いの熱い議論が交わされ、当初の予定時間を大幅に延長する大盛況のうちに閉会いたしました。



まちづくり委員会 副委員長 田所 敦史

2016JCI ASPAC(世界青年会議所 アジア太平洋協議会)高雄大会



アジアと太平洋地域の青年経済人が一堂に集まる「アジア太平洋協議会」が台湾高雄で開催され、岡山青年会議所メンバー30名が出席しました。4年前に台北で世界会議が開催されましたが、台湾の南部への渡航は初めてのメンバーばかりで、右も左もわかりませんでした。幸運にも新会員に台湾の言葉を話せるメンバーがいて、たいへんな戦力となっていただきました。この会議でアジアと太平洋地域の現状を把握して、各国の青年会議所がどういった事業に力を入れているかを確認し、今後の方向性が話し合われました。また、各国が開催するレセプションは、それぞれの国柄が出てとても楽しい時間を過ごさせていただきました。その中でも日本が開催するレセプションは最大で、様々な方々が訪れ花火大会が開催されたかの様な混雑の中、参加者は日本各地の名産品を楽しんでいました。岡山青年会議所メンバーも出店に協力して特産品のアピールを行いました。アジアの中でも国と国との摩擦を聞くことがありますが、私たち各国青年会議所メンバー同士は友好的につながってアジアと太平洋地域のより良い未来を考えています。

渉外委員会 副委員長 磯島 慈海

事業報告

第52回 岡山ブロック大会



岡山県下の15青年会議所メンバーが全員集合する、岡山ブロック大会が真庭市で開催され、来年度へ向けての方針を話し合いました。岡山ブロック協議会の坪井会長が挨拶で「青年会議所活動は地域や人を想い、尊い行動であることを強く感じて、今後も自分を大切にしながらも他者を優先する利他の心が、目に見える形となって体现される社会を目指す。」と宣言され、岡山県の青年会議所メンバーが一丸となって地域の発展に貢献する意識をより強く持ちました。また、少子化や景気の低迷で青年会議所メンバーが減少傾向にある現状を鑑みて、会員増強の意

識を高めることを目的としたパネルディスカッションが行われ、上神副理事長が参加しました。未入会の方と活動内容の認識のずれや会員の負担が多い現状などが話し合われましたが、より良いまちを目指して真剣に活動する青年会議所の必要性も論じられ、この活動を活発にするためにも会員増強が必要であることを再認識しました。

渉外委員会 副委員長 磯島 慈海

中国地区コンファレンス2016 in岩国

6月18日、岩国の地にて『VISIONARY』JC ～共感からつながる!54のまちを想う「心」が地域を磨く!～というテーマの基に中国地区コンファレンス2016が快晴の空の下開催されました。岩国市民会館で行われた式典の中で、佐野理事長が次年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 第66代会長候補者として内定され、特別会員の皆様と多くの現役会員でその決定の瞬間を共有しました。その後、同会場にて、竹田恒泰氏をお招きし「日本のあるべき姿を取り戻すために!」という演題で主権者意識醸成フォーラムが行われました。錦帯橋鶴飼広場では地域の宝を発掘する「たからいち」が開催され、大懇親会では改めて佐野次年度会長候補者の次年度にかける想いを聞き、LOMメンバーでお祝いをすることが出来ました。たくさんの方にご参加いただきまして誠にありがとうございました。



渉外委員会 副委員長 古市聖一郎

前期親睦事業 和気ドーム(和気町鶴飼谷公園内)



6月26日(日)に親睦事業「すまいる・フェスティバル～ありがとうでつながるみんなのCOCORO～」が開催されました。今年は楽しい大運動会と趣向を凝らしたバーベキューを通じてご家族と一緒に楽しんでいただきました。委員会ごとに運動会を応援することで、ご家族同士が仲良くなり、多くの会話を通じてより深くJC活動やご家族のことを知り合うきっかけになったと思います。

玉入れや二人三脚、三輪車競争や借り物競争など、いつもとは違ったオリジナリティーあふれる一風変わった運動会をすることができました。また、お昼にはオードブルに始まって、チヂミや焼肉、フリフリチキンやかき氷など、おいしい料理が一度に集まり、お子様から大人まで終始会話の途切れない楽しいすまいる・フェスティバルになりました。事業にご参加・ご協力いただき誠にありがとうございました。

前期親睦事業実行委員会一同

同好会報告

第87回岡山ブロックじゃがいも大会



本年度も、5月12日に一般社団法人総社青年会議所の主管により、第87回岡山ブロックじゃがいも大会が鬼ノ城ゴルフクラブにて開催されました。岡山青年会議所も、14名を越える現役メンバー、特別会員の皆様と共に参加をさせていただきました。当日は、天候にも恵まれ、現役会員と特別会員の世代の垣根、LOMとLOMの地域の垣根を越え1日、プレーを楽しみました。楽しむだけでなく、岡山青年会議所も団体の部で3位という成績も収めることができ、1年に1度の大会では、ありますが、ゴルフを通じての新たな出会い、設営側のおもてなし、本当に充実した1日を過ごすことができました。今後も、多くのメンバーと参加をし、懇親を深めたいと思います。最後に、今回設営してくださいました一般社団法人総社青年会議所の皆さま、ありがとうございました。

ほたる会(3LOM親睦テニス大会)

2016年6月21日に晴天の下、大阪にて3LOM親善テニス大会が開催されました。3LOM親善テニス大会とは大阪・京都・岡山の青年会議所のテニス同好会が、各青年会議所の垣根を超えた友情を育む場です。岡山からは先輩2名、現役メンバー14名、総勢16名のご参加をいただきました。他の青年会議所メンバーとペアになり爽やかな試合を行い、また、試合の終了後には懇親会も設けていただき、杯を交わしながらテニスの話や、それぞれの青年会議所の話で大いに盛り上がりました。来年は岡山の地にて3LOM親善テニス大会が開催されます。心のこもった設営をし、岡山県の魅力を伝えられるようにメンバー一丸となり企画・開催して参ります。



事業予告

うらじゃについて

第23回
うらじゃ2016 幹 酒晴晴礼おかやま魂

2016年8月6日(土)&7日(日) | 岡山市中心部 |

事業予告

キッズビジネスパーク

開催日時 **2016年8月28日** 日 10:00~16:30
小雨決行/荒天中止



会場

岡山ふれあいセンター

岡山市中区桑野715-2
お問い合わせ先
公益社団法人岡山青年会議所 TEL 086-223-0938

参加対象者

小学生(3~6年生) 定員500名
(応募締め切り後抽選)

※一部、保護者・一般の方にも参加いただけます。
※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

参加費用

児童1名につき1,000円

保護者の方・一般の方は参加費不要(当日、キッズマネーを購入できます)

市民公開フォーラム(佐々木則夫氏)

世界一のコミュニケーションから学ぶこと

~Change Myself and Change Everyone~



サッカー指導者 **佐々木 則夫**

2016年 **10月26日** 水 料金 1,000円

会場 **岡山市民会館**

岡山市北区丸の内2丁目1番1号 TEL.086-223-2165